

国際緊急援助隊医療チーム(JDR)における 臨床工学技士の役割 ～挑戦と未来～



○森實雅司¹⁾²⁾ 矢田哲康²⁾³⁾ 三木隆弘²⁾⁴⁾ 富加見教男²⁾⁵⁾
増田善文²⁾⁶⁾ 小島達也²⁾⁷⁾

済生会横浜市東部病院臨床工学部¹⁾ 国際協力機構国際緊急援助隊医療チーム²⁾
藤沢市民病院看護部³⁾ 日本大学病院臨床工学技士室⁴⁾
兵庫医科大学病院臨床工学室⁵⁾ 奈良県立医科大学附属病院医療技術センター⁶⁾
埼玉医科大学総合医療センターMEサービス部⁷⁾

国際緊急援助隊(JDR)について

- **目的:**

海外の地域における大規模な災害に対し、国際緊急援助活動を行うこと。

- **対象地域:**

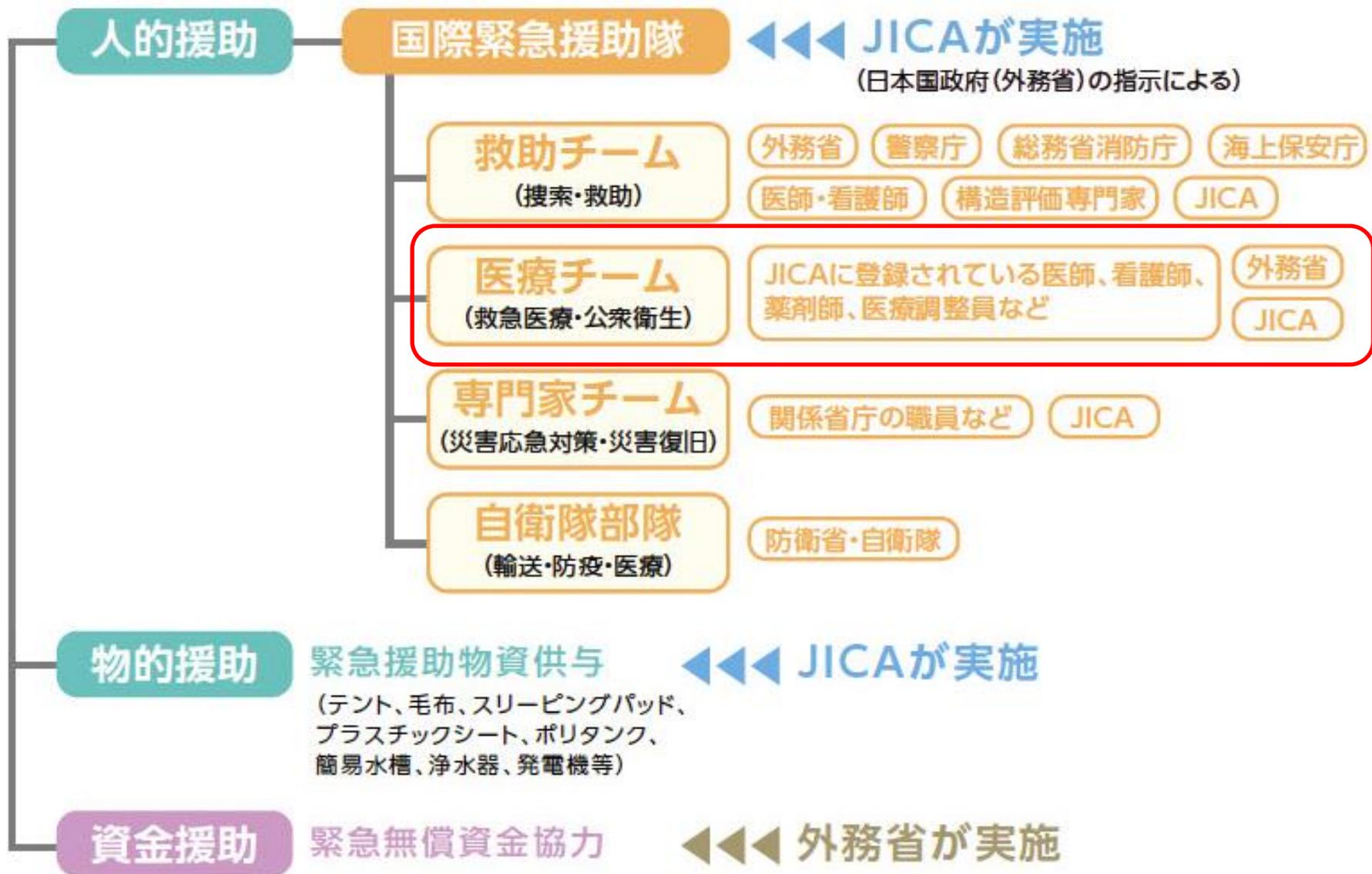
途上国のみならず先進国

- **対象となる災害:**

自然災害と人為的災害

(例:地震、洪水、台風、干ばつ、ビルの倒壊など)





こちらは救助チーム



提供：JICA



提供：JICA



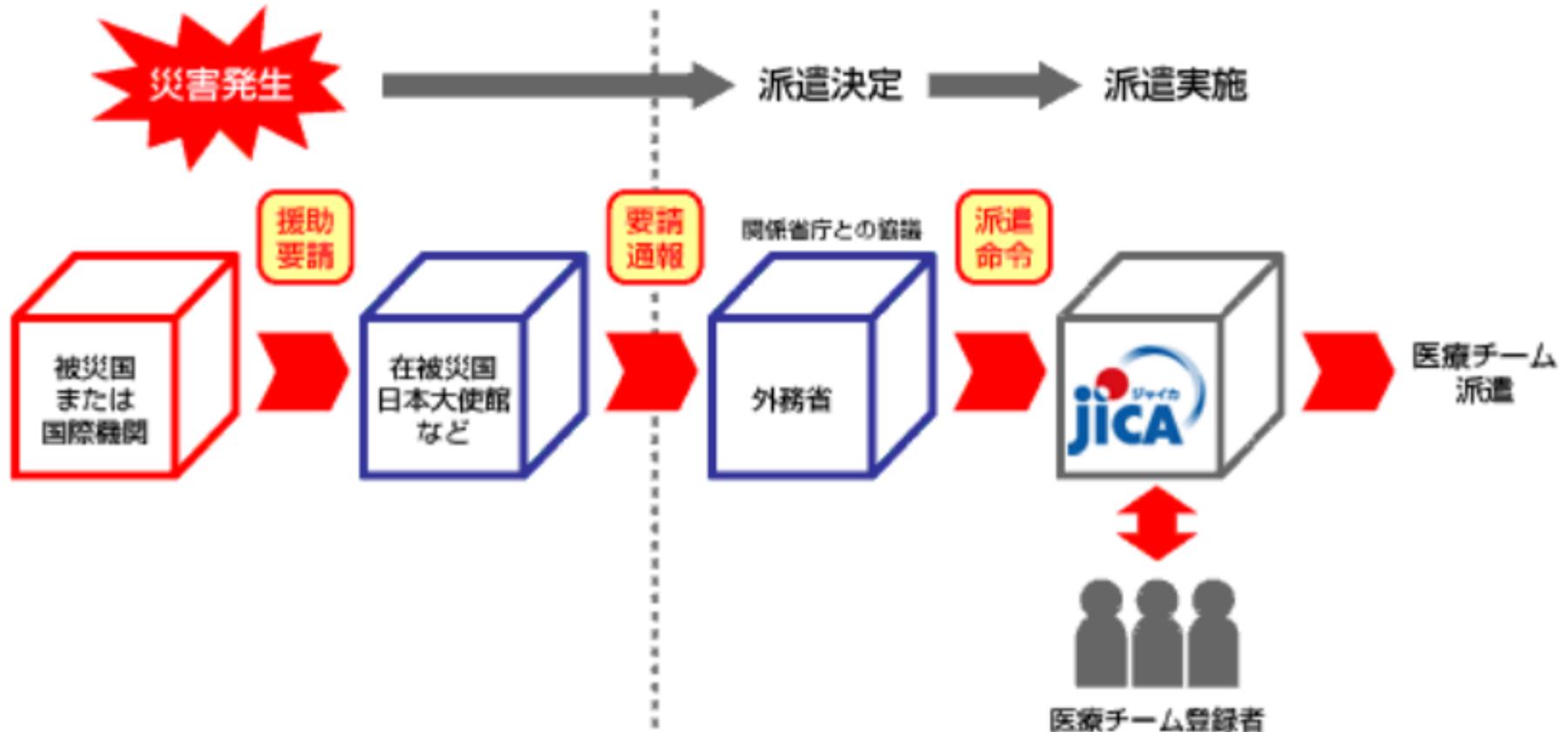
提供：JICA

JDR医療チーム

- 医療チームは、被災者の診療にあたりるとともに、必要に応じて疾病の感染予防や蔓延防止のための活動を行う。
- メンバーは個人の意志で登録している医師、看護師、薬剤師、調整員の中から選ばれるのに加え外務省の職員やJICAの業務調整員から編成。

要請主義に基づいた派遣プロセス

医療チームの場合



ボランティアベースの登録

従来のJDR医療チーム

- 外来とモバイル診療が中心で手術機材や入院設備はない。(23名を基本とする)
- 多数の重症患者への対応が困難。



JDR医療チームの機能拡充

- アジア近隣諸国における大規模災害に対して医療チームが急性期に対応できる機能を拡充する必要性が高まった。
- チャーター機の活用により超急性期に現地入りできる可能性が高くなった。
- 手術・入院・透析など救命医療への対応能力。
- 人員は従来の2倍以上。

JDR機能拡充におけるCEの役割

- 手術室における麻酔器などの設置・管理
- 透析装置の機器管理や施行中の患者管理
- 病棟における機器管理(モニターなど)
- 手術室内の電源管理
- 酸素ポンベの管理(海外では接続口から異なる)
- 機器のトラブル対応
- その他、診療の補助



ホーム > ニュース > 緊急援助ニュースリリース > 2015年度 > ネパール連邦民主共和国における地震被害に対する国際緊急援助隊医療チームの派遣について

ページを共有する
Twitter Facebook Google+1 B! Email

ニュース

▶ プレスリリース

▶ 緊急援助ニュースリリース

- 2015年度
- 2014年度
- 2013年度
- 2012年度
- 2011年度
- 2010年度
- 2009年度
- 2008年度

● ネパール連邦民主共和国における地震被害に対する国際緊急援助隊医療チームの派遣について

2015年4月27日

JICAは、ネパール連邦民主共和国政府からの要請に基づき、同国地震被害に対し、4月28日に国際緊急援助隊医療チームを派遣します。

記

1. 災害状況

日本時間25日(土)15時11分頃(現地時間25日11時56分)、ネパール首都カトマンズから北西約80kmのガンダギ県のラムジュン郡でM7.8の大規模な地震が発生し、その後マグニチュード4以上

- 2012年度
- 2011年度
- 2010年度
- 2009年度
- 2008年度
- 2007年度
- 2006年度

お知らせ
トピックス
セミナー・シンポジウム報告
要人会談
JICA関連報道等に関する見解
イベント情報
震災関連情報

1. 災害状況

日本時間25日（土）15時11分頃（現地時間25日11時56分）、ネパール首都カトマンズから北西約80kmのガンダギ県のラムジュン郡でM7.8の大規模な地震が発生し、その後もマグニチュード4以上の余震が続いています。

一部報道によると、4月27日の時点で3,700名超が死亡し、6,500名超が負傷しました。ネパールの75郡のうち35郡が被災。ネパールの首都カトマンズや第二の都市ポカラなど人口が多い地域における建物の崩壊など加え、カトマンズ渓谷では雪崩などによる甚大な被害が出ています。登山シーズンに入り、発災時は邦人を含む多くの外国人登山者がエベレストを訪れていました。現地では病院が満杯で仮設の手術室を設けるところがある他、道端で手当を受ける患者の姿も見受けられます。医薬品の不足や感染症の流行なども懸念されています。

2. 国際緊急援助隊医療チームの派遣

ネパール連邦民主共和国政府からの要請を受けて、日本政府は27日、国際緊急援助隊医療チームの派遣を決定、JICAは同チームの派遣準備に着手しました。概要は以下の通りです。

- (1) チームは、団長1名、副団長1名、医師8名、看護師16名、放射線技師2名、薬剤師2名、臨床工学技士2名、検査技師2名、医療調整員4名、業務調整員8名の46名体制で派遣する。
- (2) チームは4月28日（火）夕刻、チャーター便にて成田空港を出発する方向で調整中。



提供：JICA



สต

เมืองเขาหินซ้อน

ท่าเรืออากาศ

โคกหินปูน

มุกดาฬานุเคราะห์

ตาดำบังคา

提供: JICA



提供：JICA



提供：JICA



提供：JICA



提供：JICA



提供：JICA

戻る

メンテナンス

動作点検項目

LE

ポンプ

シリンジ

電磁弁

漏血セ

修正

時計修正

圧力補正

バッテリー電圧表示

<ウォーマ動作点検>

ウォーマの動作状態を表示しています。
異常がなければ「OK」キーを押して下さい。

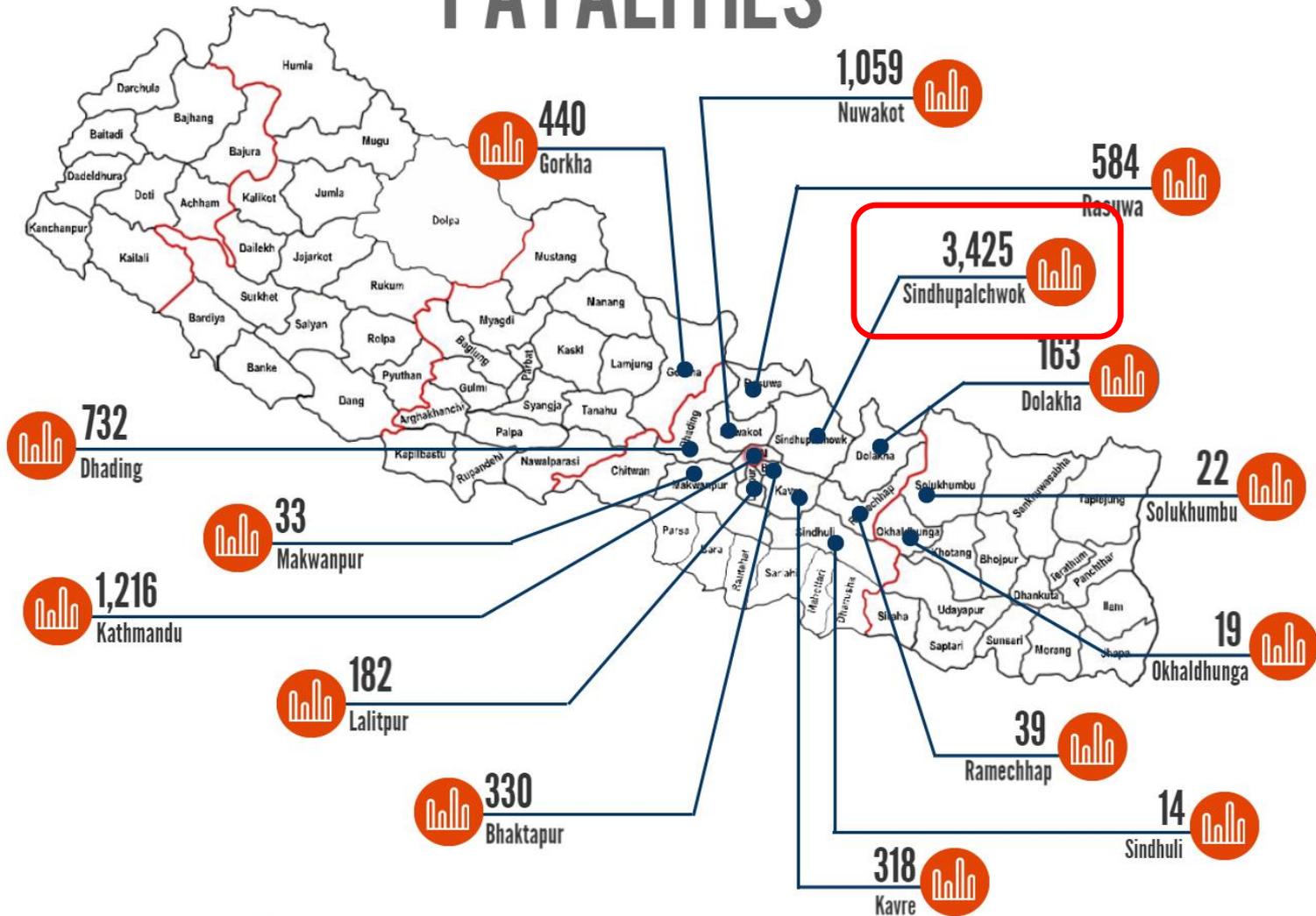
	扉	電 源	ヒューズ
補液	閉	ON	正常
透析液	閉	ON	断線

NG

OK

15 DISTRICTS WITH HIGH FATALITIES

 8,633  21,843





BNC 2
A-7 新河

提供：JICA



提供：JICA



提供：JICA



提供：JICA



提供：JICA



提供：JICA



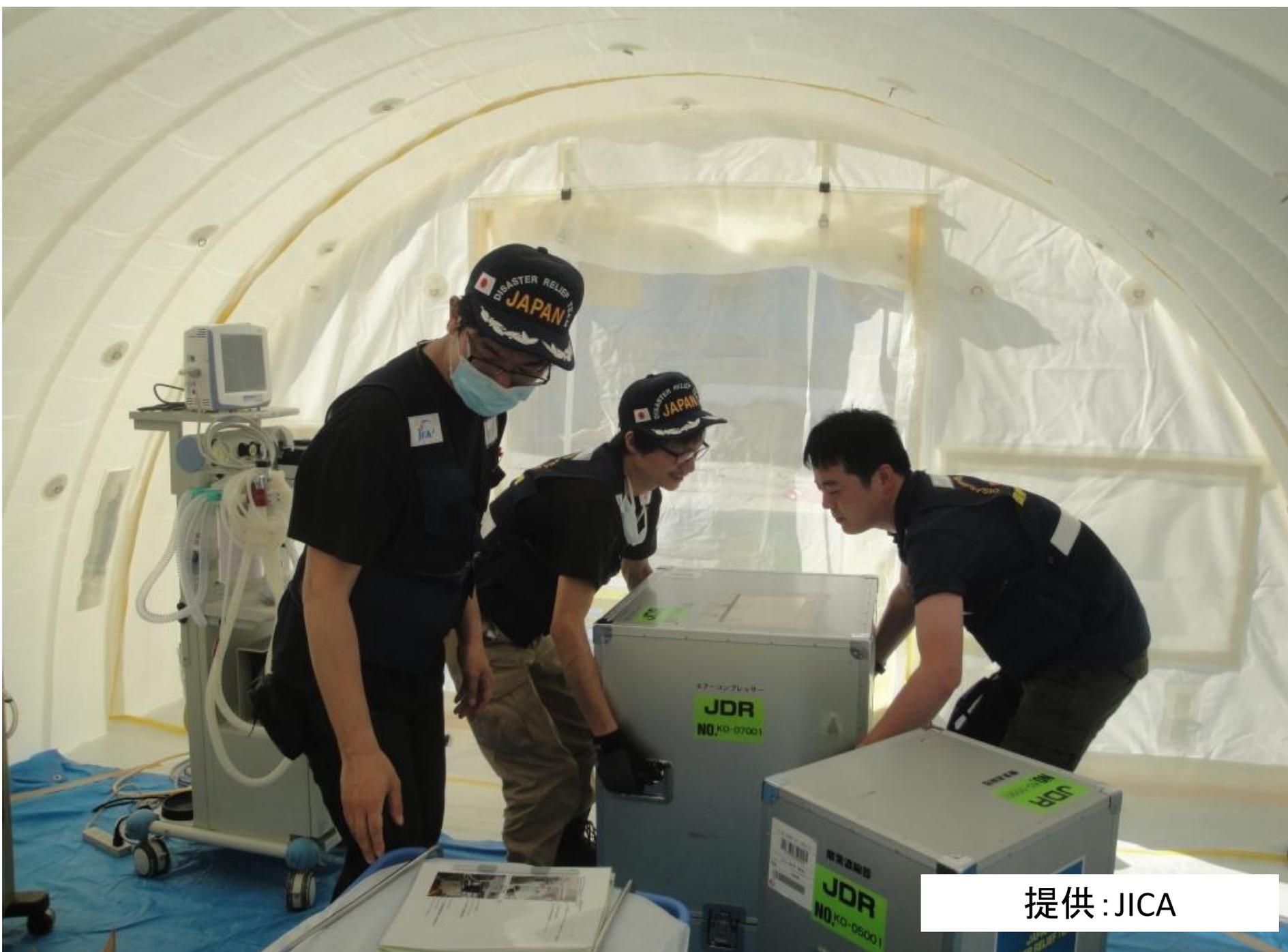
提供：JICA



提供：JICA



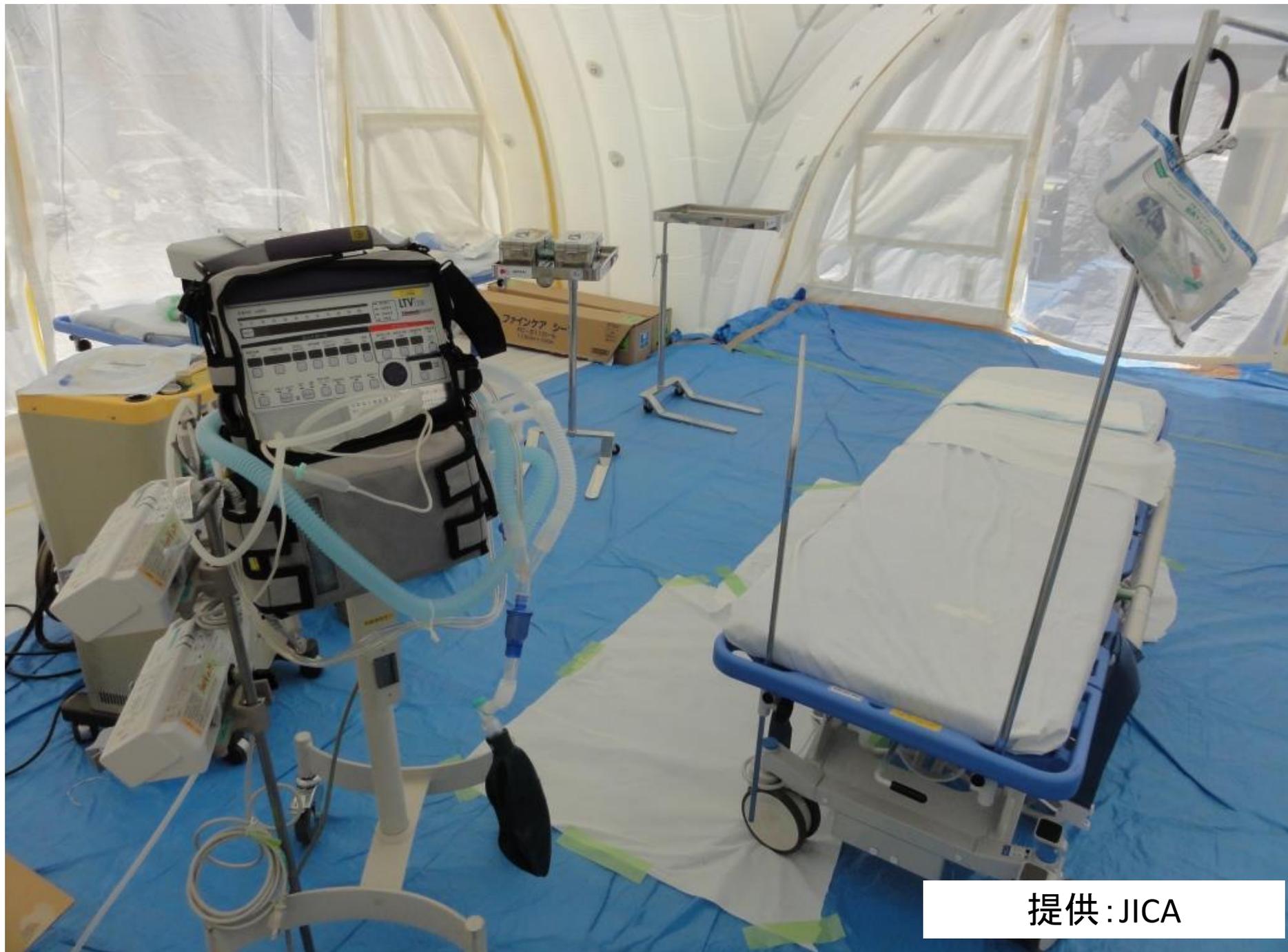
提供：JICA



提供：JICA



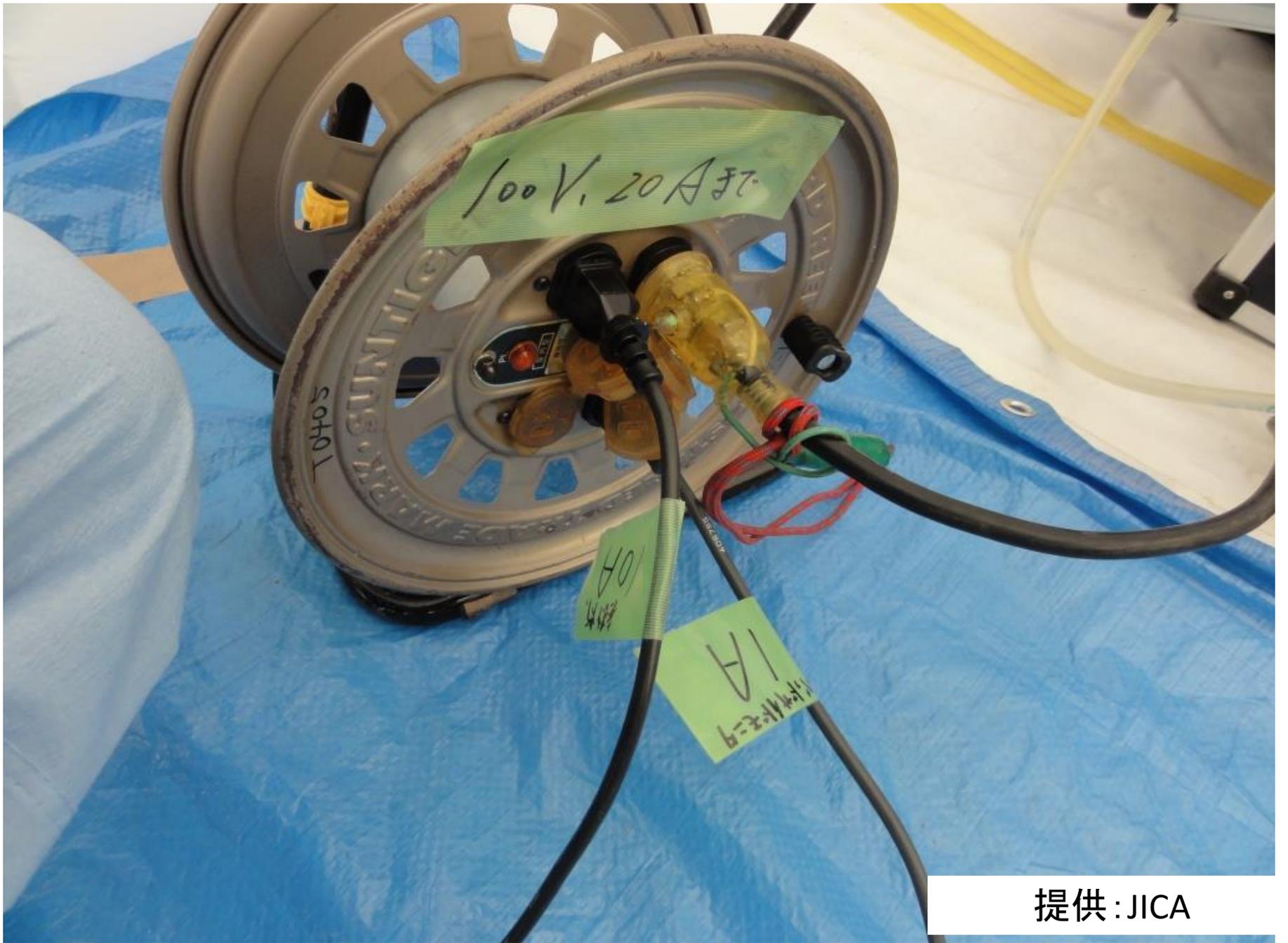
提供：JICA



提供：JICA



提供: JICA



100V, 20A 37.

0A
25A

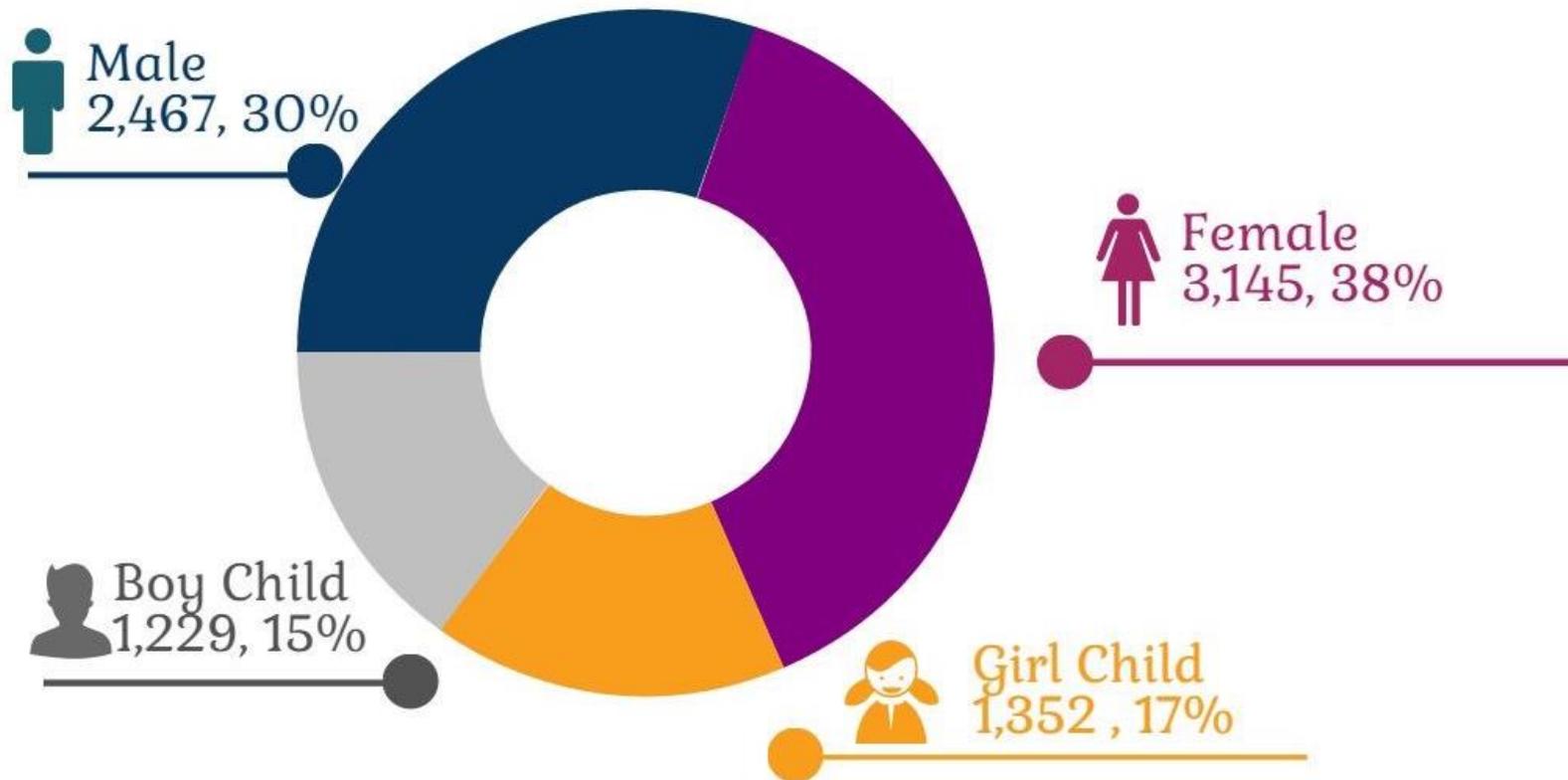
1A
1.5A
2.5A

提供: JICA



提供：JICA

ネパール地震 犠牲者の3人に1人は小児



Out of 96% of Identified Death bodies

ネパール警察資料



提供：JICA

CEの登録者募集中！



提供：JICA

国際緊急援助隊医療チーム登録者に求められる資質

JDR医療チームは、日本政府を代表した医療チームとして被災国に派遣され、被災地にて被災者の診療にあたるとともに、疾病の感染予防や蔓延防止に関する活動を行います。時には劣悪な環境下での活動を余儀なくされることもあり、通常的环境とは異なる中で、現地の状況に合わせた柔軟な活動を行う必要があります。医療チーム登録者に求められる資質は、主に以下の通りです。

- 「被災者を助けたい、役に立ちたい」 ころろ
- 被災国で活動・生活するための体力と工夫
- 厳しい環境下でも十分に発揮できる技術
- チームの総合力を高める積極性と協調性
- どこでも寝られる、なんでも食べられる適応力
- コミュニケーションのための語学力と人柄 など

災害で被害を受けた人々のために。
私たちが出来る援助を、これから
世界の国々へ。